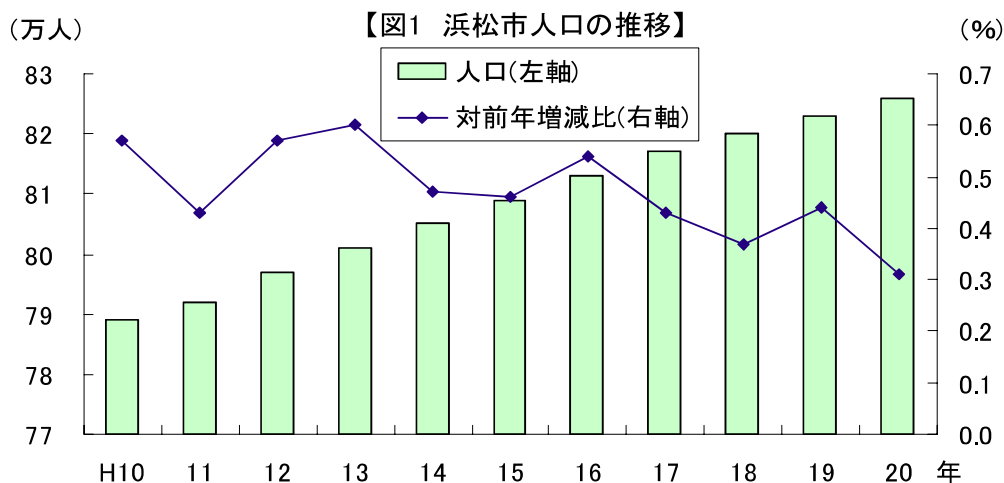


1. 概要

平成20年10月1日現在の住民基本台帳・外国人登録に基づく浜松市の人口は825,810人で、前年に比べ2,538人(0.3%)増加している。世帯数は316,716世帯で、3,566世帯(1.1%)増加している。

性別にみると、男性が411,822人(構成比49.9%)で、前年に比べ1,444人(0.4%)増加している。女性は413,988人(同50.1%)で、前年に比べ1,094人(0.3%)増加している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は99.5で、平成19年の99.4に比べわずかに増加している。

1世帯あたりの平均人員は2.61人で、前年に比べ0.02人減少している。



注)平成10年～16年は12月末日人口、平成17年以降は10月1日人口

表1 浜松市人口・世帯数の推移

年	総 人 口			住			
	総 数	前年比%	男	女	世 帯 数	総 数	前年比%
平成 10年	788 724	0.57	391 312	397 412	268 790	770 400	0.51
11	792 091	0.43	393 310	398 781	273 310	772 654	0.29
12	796 612	0.57	395 576	401 036	277 915	775 508	0.37
13	801 406	0.60	397 965	403 441	282 979	778 118	0.34
14	805 180	0.47	399 775	405 405	287 511	780 649	0.33
15	808 840	0.45	401 666	407 174	291 931	782 875	0.29
16	813 202	0.54	403 861	409 341	296 758	784 852	0.25
17	816 658	0.42	406 065	410 593	301 643	786 300	0.18
18	819 699	0.37	408 372	411 327	306 014	788 102	0.23
19	823 272	0.44	410 378	412 894	313 150	790 292	0.28
20	825 810	0.31	411 822	413 988	316 716	792 191	0.24

注)平成10年～16年は12月末日人口、平成17年以降は10月1日人口

表2 浜松市人口・世帯数等

	平 成 20 年					
	総 数	前年比%	男	女	性 比	世 帯 数
総 人 口	825 810	0.31	411 822	413 988	99.5	316 716
住 民 登 録	792 191	0.24	394 277	397 914	99.1	297 481
外 国 人 登 録	33 619	1.94	17 545	16 074	109.2	19 235

2. 住民基本台帳人口と外国人登録人口

平成20年10月1日現在の住民基本台帳人口は792,191人で、前年に比べ1,899人(0.2%)増加している。世帯数は297,481世帯で、3,691世帯(1.3%)増加している。

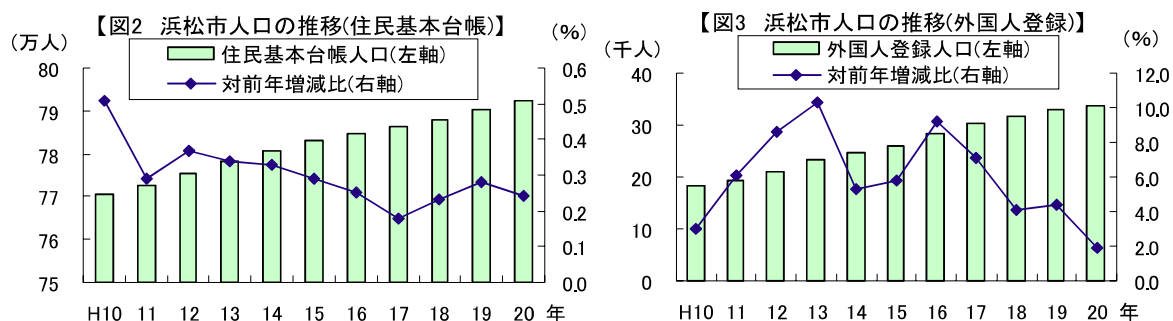
性別にみると、男性が394,277人(構成比49.8%)で、前年に比べ1,254人(0.3%)増加している。女性は397,914人(同50.2%)で、前年に比べ645人(0.2%)増加している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は99.1で、平成19年の98.9に比べ増加している。

1世帯あたりの平均人員は2.66人で、前年に比べ0.03人減少している。

平成20年10月1日現在の外国人登録人口は33,619人で、前年に比べ639人(1.9%)増加している。世帯数は19,235世帯で、125世帯(0.6%)減少している。

性別にみると、男性が17,545人(構成比52.2%)で、前年に比べ190人(1.1%)増加、女性は16,074人(同47.8%)で、前年に比べ449人(2.9%)増加している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は109.2で、平成19年の111.1に比べ減少している。

1世帯あたりの平均人員は1.75人で、前年に比べ0.05人減少している。



注)平成10年～16年は12月末日人口、平成17年以降は10月1日人口

民 登 録			外 国 人 登 録					
男	女	世 帯 数	総 数	前年比%	男	女	世 帯 数	
381 501	388 899	259 255			18 324	3.05	9 811	8 513
382 774	389 880	263 005	19 437	6.07	10 536	8 901	10 305	
384 410	391 098	266 965	21 104	8.58	11 166	9 938	10 950	
385 890	392 228	270 867	23 288	10.35	12 075	11 213	12 112	
387 101	393 548	274 560	24 531	5.34	12 674	11 857	12 951	
388 413	394 462	278 240	25 965	5.85	13 253	12 712	13 691	
389 539	395 313	281 631	28 350	9.19	14 322	14 028	15 127	
390 440	395 860	285 724	30 358	7.08	15 625	14 733	15 919	
391 665	396 437	290 052	31 597	4.08	16 707	14 890	15 962	
393 023	397 269	293 790	32 980	4.38	17 355	15 625	19 360	
394 277	397 914	297 481	33 619	1.94	17 545	16 074	19 235	

10 月 1 日			
前年比%	1世帯あたり 平均人員	面積km ²	人口密度
1.14	2.61	1,511.17	546
1.26	2.66	-	-
△ 0.65	1.75	-	-

3. 行政区別人口

行政区別に人口・世帯数をみると、中区が人口・世帯数ともに最も多く、人口は249,049人(構成比30.2%)、世帯数は107,370世帯(同33.9%)である。人口・世帯数ともに最も少ないのは天竜区で、人口は36,672人(同4.4%)、世帯数は13,571世帯(4.3%)である。

人口密度も同様に、最も高いのは中区の5,631人/km²、最も低いのは天竜区の39人/km²である。

性比は、東区が101.3と最も高く、続く南区も101.0で、女性の割合が高い。性比が最も低いのは、天竜区の93.6である。

平成19年と比較すると、東区・西区・南区・浜北区では、人口・世帯数ともに増加している。

【図5 行政区別人口・世帯数(構成比)】

外円:人口/内円:世帯数

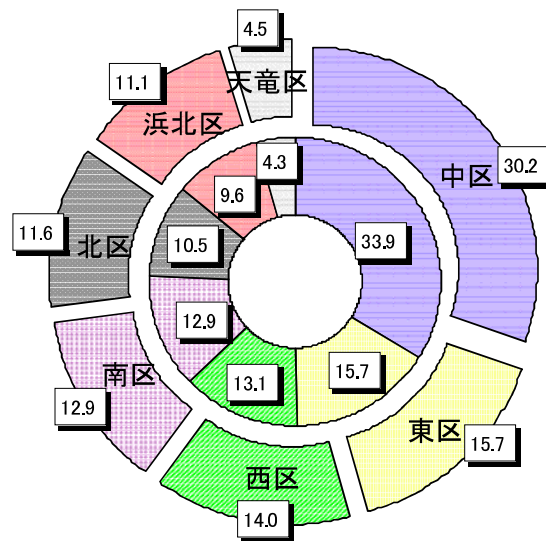


表3 区別の人口・世帯数等

区	平成19年10月1日				平		
	総数	男	女	世帯数	総数	前年比%	男
中区	249 116	124 322	124 794	106 808	249 049	△ 0.03	124 281
東区	129 262	65 013	64 249	49 038	129 909	0.50	65 373
西区	114 649	57 175	57 474	40 675	115 791	1.00	57 682
南区	105 968	53 180	52 788	40 181	106 586	0.58	53 557
北区	96 184	47 531	48 653	32 887	96 040	△ 0.15	47 488
浜北区	90 681	45 102	45 579	29 880	91 763	1.19	45 713
天竜区	37 412	18 055	19 357	13 681	36 672	△ 1.98	17 728

4. 年齢別人口

年齢別に人口をみると、実数では年少人口(15歳未満)と老年人口(65歳以上)が増加し、生産年齢人口(15歳～64歳)が減少している。構成比では、年少人口が14.3%で前年比増減なし、生産年齢人口が64.8%で同0.4%減少しているのに対し、老年人口は20.9%で同0.4%増加している。

行政区別にみると、年少人口の占める割合が最も高いのは西区(15.5%)で、最も低いのは天竜区(9%)である。

生産年齢人口の占める割合が最も高いのは中区(66.3%)で、最も低いのは、年少人口と同様天竜区(55.3%)である。

表4 年齢3区分別人口

	平成19年	平成20年							
	浜松市	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
年少人口(15歳未満)	117 968	118 090	34 574	19 796	17 950	15 711	13 359	13 382	3 318
構成比(%)	14.3	14.3	13.9	15.2	15.5	14.7	13.9	14.6	9.0
生産年齢人口(15歳～64歳)	536 909	534 840	165 072	85 068	74 402	69 353	61 422	59 251	20 272
構成比(%)	65.2	64.8	66.3	65.5	64.3	65.1	64.0	64.6	55.3
老年人口(65歳以上)	168 395	172 880	49 403	25 045	23 439	21 522	21 259	19 130	13 082
構成比(%)	20.5	20.9	19.8	19.3	20.2	20.2	22.1	20.8	35.7

平成20年		平成10年		平成10年		平成10年	
女	性比	世帯数	前年比%	1世帯あたり平均人員	人口構成比	面積 k m ²	人口密度
124 768	99.6	107 370	0.53	2.32	30.2	44.23	5 631
64 536	101.3	49 789	1.53	2.61	15.7	46.29	2 806
58 109	99.3	41 432	1.86	2.79	14.0	85.49	1 354
53 029	101.0	40 783	1.50	2.61	12.9	47.02	2 267
48 552	97.8	33 263	1.14	2.89	11.6	277.63	346
46 050	99.3	30 508	2.10	3.01	11.1	66.51	1 380
18 944	93.6	13 571	△ 0.80	2.70	4.5	944.00	39

年齢構成指数をみると、年少人口指数は前年比0.1ポイント上昇の22.1、老年人口指数は同0.9ポイント上昇の32.3、従属人口指数は同1.1ポイント上昇の54.4、老年化指数は同3.7ポイント上昇の146.4である。老年化指数の上昇が著しく、高齢化が進んでいることが分かる。

行政区別にみると、老年人口指数・従属人口指数において天竜区が突出して高く、生産年齢人口が少ないことを示している。老年化指数は全ての区で100を超えており、老年人口が年少人口を上回っていることが分かる。

【人口の年齢構成の特徴を表す指数】

- 年少人口指数(生産年齢人口に占める年少人口の割合)

$$\frac{\text{年少人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

- 老年人口指数(生産年齢人口に占める老年人口の割合)

$$\frac{\text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

- 従属人口指数(生産年齢人口に占める年少人口と老年人口の和)

$$\frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

- 老年化指数(年少人口に占める老年人口の割合)

$$\frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

【図6 年齢3区分別人口(構成比)】

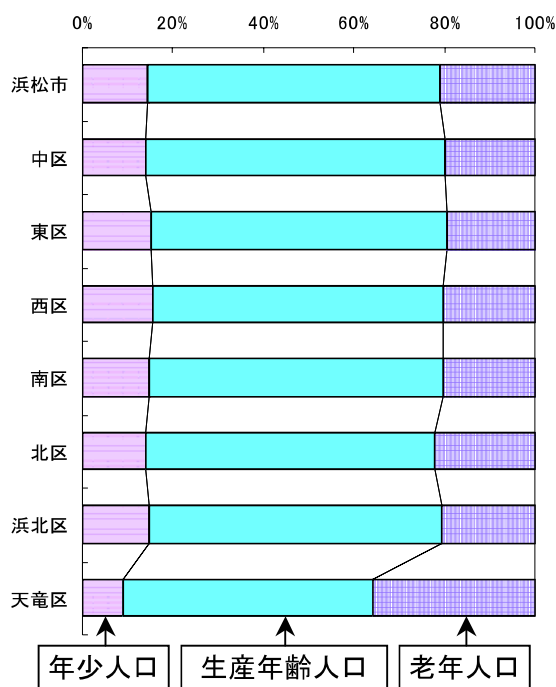


表5 年齢構成指数

	平成19年	平成20年							
	浜松市	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
年少人口指数	22.0	22.1	20.9	23.3	24.1	22.7	21.7	22.6	16.4
老年人口指数	31.4	32.3	29.9	29.4	31.5	31.0	34.6	32.3	64.5
従属人口指数	53.3	54.4	50.9	52.7	55.6	53.7	56.4	54.9	80.9
老年化指数	142.7	146.4	142.9	126.5	130.6	137.0	159.1	143.0	394.3

住民基本台帳人口の平均年齢は43.40歳で、前年の43.12歳より0.28歳上昇している。男女別にみると、男性は41.98歳(前年41.72歳)、女性は44.80歳(同44.50歳)で、ともに前年に比べ上昇している。外国人登録人口の平均年齢は30.88歳で、前年の30.70歳より0.18歳上昇している。男女別にみると、男性は30.89歳(前年30.75歳)、女性は30.86歳(同30.64歳)で、ともに前年に比べ上昇している。

行政区別にみると、住民基本台帳人口の平均年齢は、前年に比べすべての区において上昇しており、特に天竜区では0.5歳と大きく上昇している。最も上昇幅が小さかったのは、浜北区の0.15歳であった。外国人登録人口の平均年齢は、前年に比べ、北区で0.18歳低下、西区で±0歳である他はいずれも上昇している。

表6 平均年齢

【住民基本台帳】

	19年			20年		
	平 男	成 女	合 計	平 男	成 女	合 計
浜松市	41.72	44.50	43.12	41.98	44.80	43.40
中 区	41.31	44.27	42.80	41.60	44.59	43.10
東 区	40.58	43.00	41.78	40.89	43.34	42.11
西 区	40.91	43.82	42.37	41.09	44.01	42.56
南 区	41.40	44.05	42.72	41.65	44.39	43.01
北 区	42.28	45.30	43.81	42.66	45.66	44.18
浜北区	42.04	44.07	43.07	42.19	44.22	43.22
天竜区	49.51	53.06	51.34	49.97	53.59	51.84

【外国人登録】

	19年			20年		
	平 男	成 女	合 計	平 男	成 女	合 計
浜松市	30.75	30.64	30.70	30.89	30.86	30.88
中 区	30.78	31.19	30.97	31.03	31.36	31.19
東 区	30.44	30.88	30.65	30.79	31.27	31.02
西 区	29.51	28.86	29.20	29.32	29.07	29.20
南 区	29.59	29.66	29.63	29.94	29.77	29.86
北 区	32.32	30.09	31.24	31.71	30.37	31.06
浜北区	32.31	30.98	31.74	32.12	31.35	31.79
天竜区	37.98	34.65	36.35	38.60	36.58	37.64

人口ピラミッド(5歳階級)は、住民基本台帳人口において、第一次ベビーブーム世代である59～61歳(昭和22～24年生)と、第二次ベビーブーム世代である34～37歳(昭和46～49年生)の人口が多いことを表している。外国人登録人口は、20歳代後半の人口が最も多い。

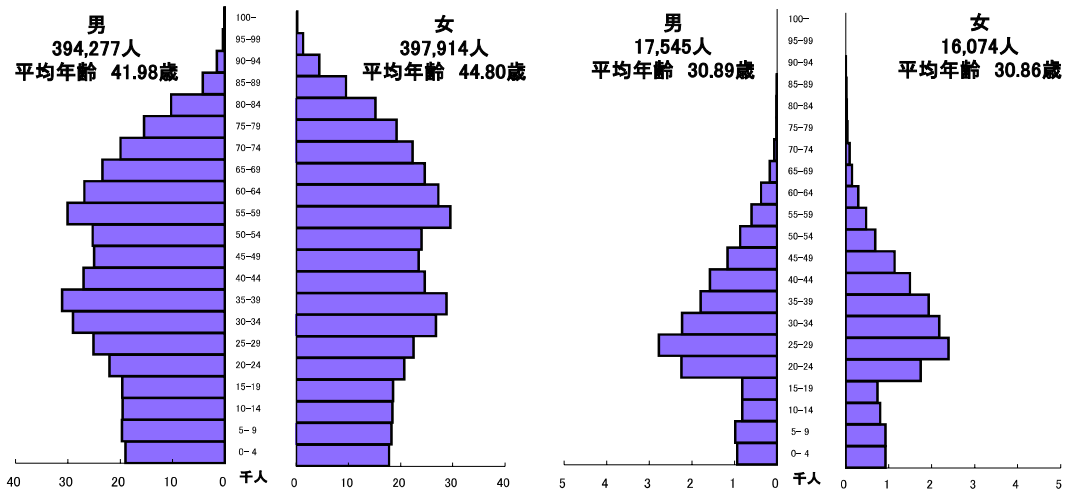
行政区別にみても概ねその傾向があるが、特徴的な区もある。北区の住民基本台帳人口は、他区に比べ年齢階級による凹凸が少ない。天竜区の住民基本台帳人口には、第二次ベビーブーム世代の凸が見られない。

【図7 人口ピラミッド(5歳階級)】

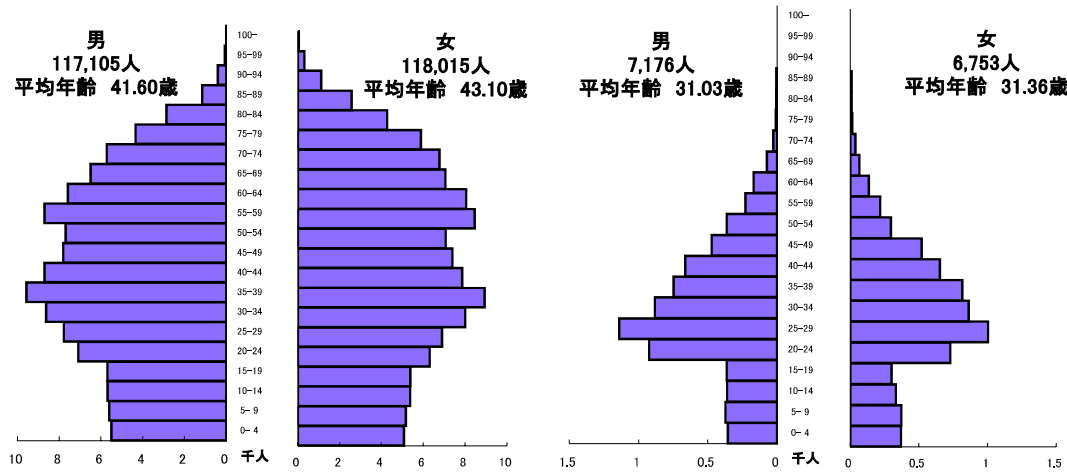
<住民登録人口>

<外国人登録人口>

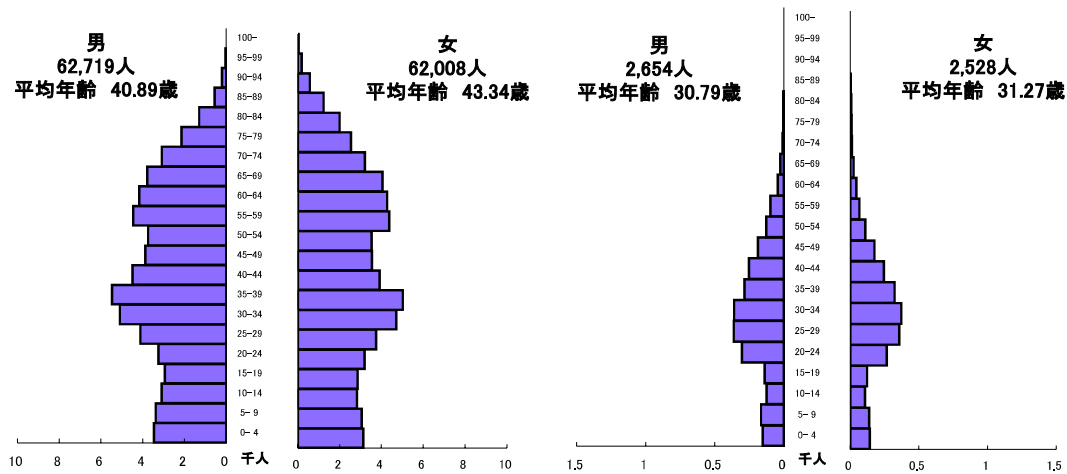
《 浜 松 市 》



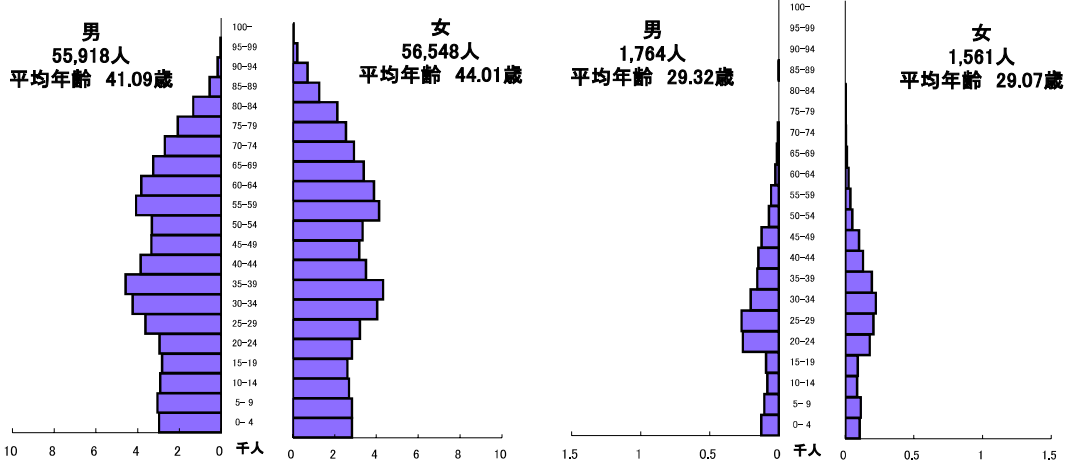
《 中 区 》



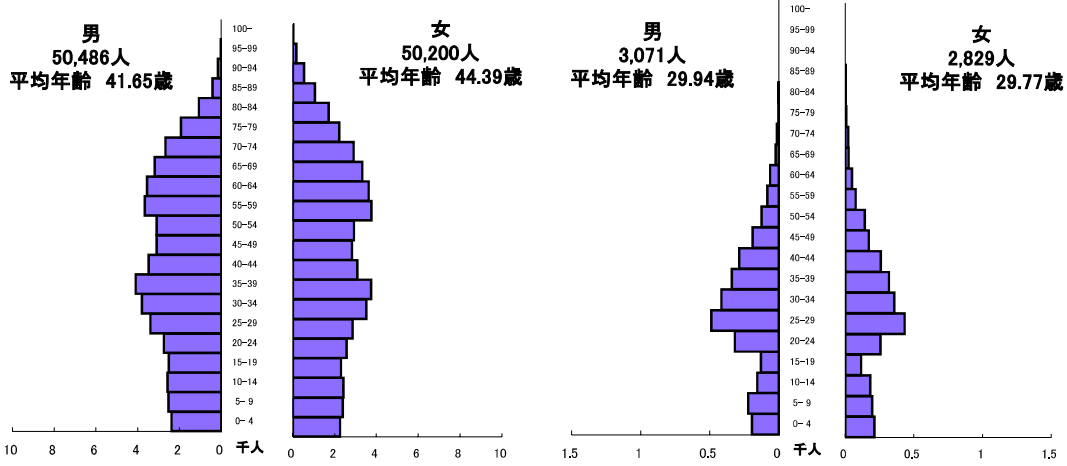
《 東 区 》



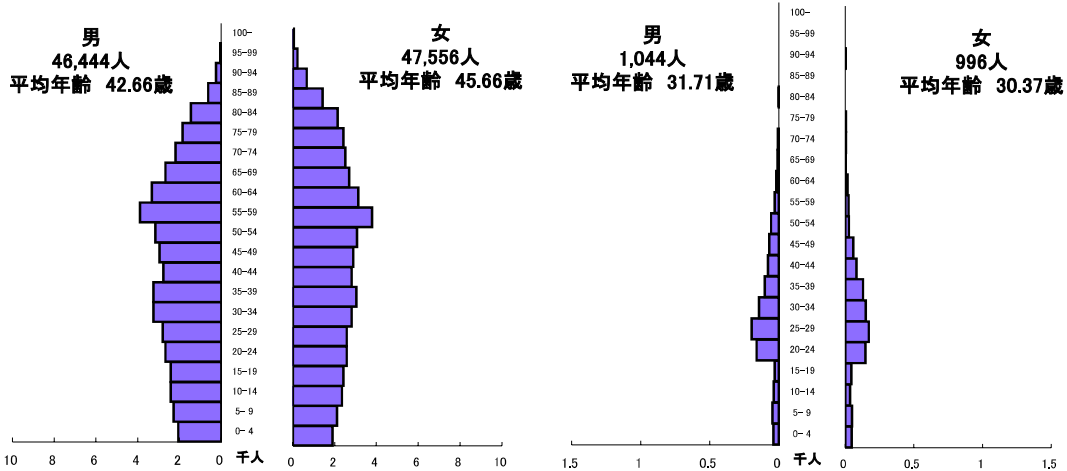
《 西 区 》



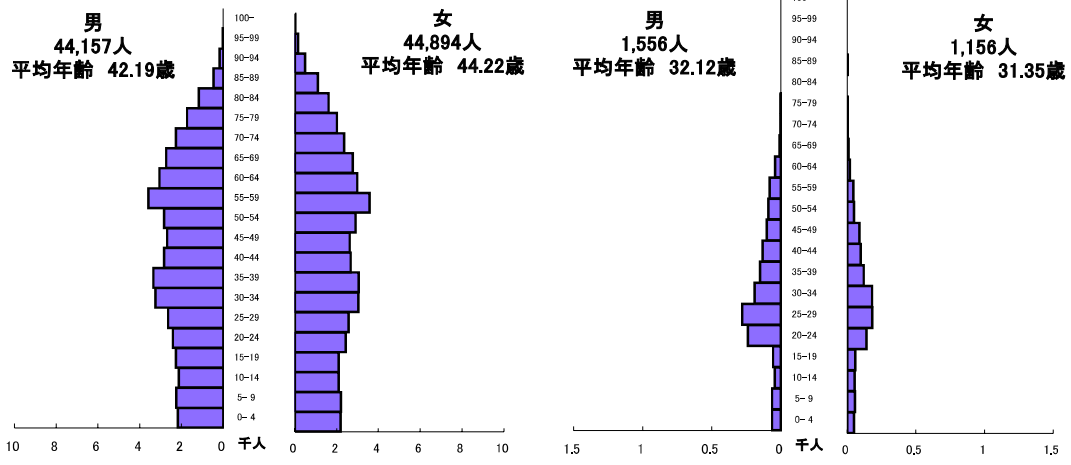
《 南 区 》



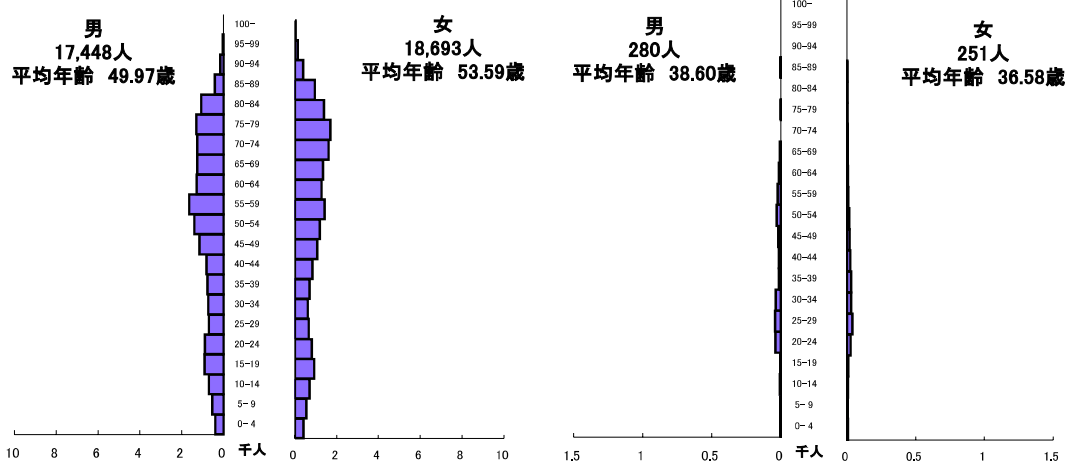
《 北 区 》



《 浜 北 》



《 天 竜 》



5. 人口動態(平成20年1月～12月)

(1) 自然動態

平成20年1月から12月までの自然動態をみると、出生数は7,818人、出生率(人口1,000人あたりの出生数)は9.47‰(パーミル)である。これに対し、死亡数は6,761人、死亡率(人口1,000人あたりの死亡数)は8.19‰で、両者の差である自然増加数は1,057人、自然増加率(人口1,000人あたりの自然増加数)は1.28‰である。

前年と比較すると、出生数は38人減で2年ぶりに減少に転じ、死亡数は237人増で2年連続増加している。自然増加数は275人減で2年ぶりの減少に転じている。

行政区別にみると、出生数は中区、東区、西区の順に多く、死亡数は中区、西区、北区の順に多い。自然増加数は東区、中区、西区の順に多く、北区と天竜区では減少している。

率をみると、出生率が最も高いのは東区、最も低いのは天竜区である。逆に、死亡率が最も高いのは天竜区、最も低いのは東区であり、従って自然増加率も、最も高いのが東区、最も低いのが天竜区である。

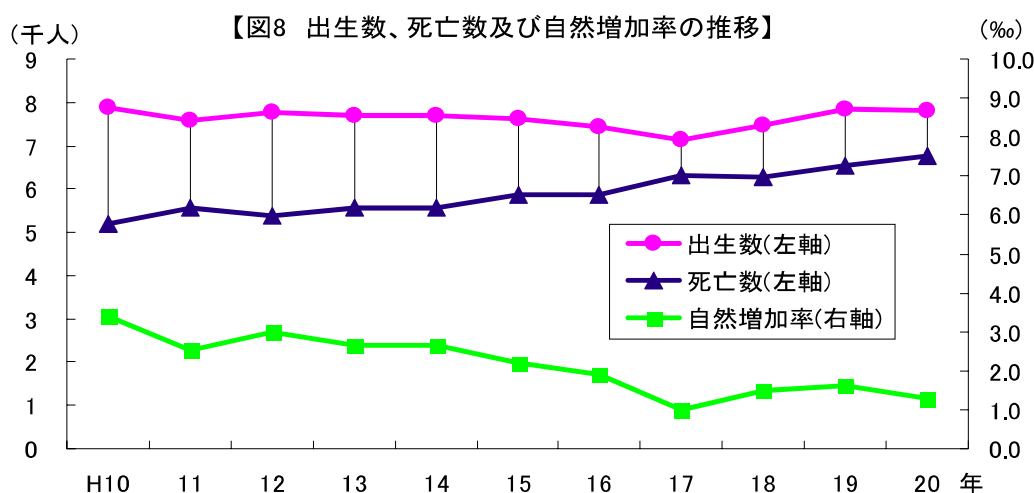


表6 自然動態

区 別	出 生			死 亡			自 然 増 加		
	総 数	出生率(‰)	前年比(%)	総 数	死亡率(‰)	前年比(%)	総 数	自然増加率(‰)	前年比(%)
浜松市	7,818	9.47	△ 0.48	6,761	8.19	3.63	1,057	1.28	△ 20.65
中 区	2,304	9.25	-	1,943	7.80	-	361	1.45	-
東 区	1,454	11.19	-	884	6.80	-	570	4.39	-
西 区	1,234	10.66	-	952	8.22	-	282	2.44	-
南 区	1,016	9.53	-	783	7.35	-	233	2.19	-
北 区	810	8.43	-	946	9.85	-	△ 136	△ 1.42	-
浜北区	854	9.31	-	736	8.02	-	118	1.29	-
天竜区	146	3.98	-	517	14.10	-	△ 371	△ 10.12	-
平成19年	7,856	9.54	0.54	6,524	7.92	2.98	1,332	1.62	△ 9.94

(2) 社会動態

平成20年1月から12月までの社会動態をみると、転入者数は27,367人、転入率(人口1,000人あたりの転入者数)は33.14%(パーミル)である。これに対し、転出者数は26,313人、転出率(人口1,000人あたりの転出者数)は31.86%で、両者の差である社会増加数は1,054人、社会増加率(人口1,000人あたりの社会増加数)は1.28%である。

前年と比較すると、転入者数は1,913人減、転出者数も790人減でいずれも2年連続で減少している。社会増加数は1,123人減で、51.58%の大幅な減少となっている。

行政区別にみると、転入者数・転出者数ともに中区、東区、西区の順に多いが、社会増加数は西区、中区、浜北区の順に多く、北区と天竜区では減少している。率をみると、転入率・転出率ともに最も高いのは中区であるが、社会増加率は西区が最も高く、浜北区が続いている。

自然動態と社会動態を比較すると、浜松市の自然増加数と社会増加数の差はほとんどないが、東区は自然増加率が高く、西区は社会増加率が高いなど、行政区によって人口動態の要因は異なっている。北区と天竜区では、自然増加数・社会増加数いずれも減少している。

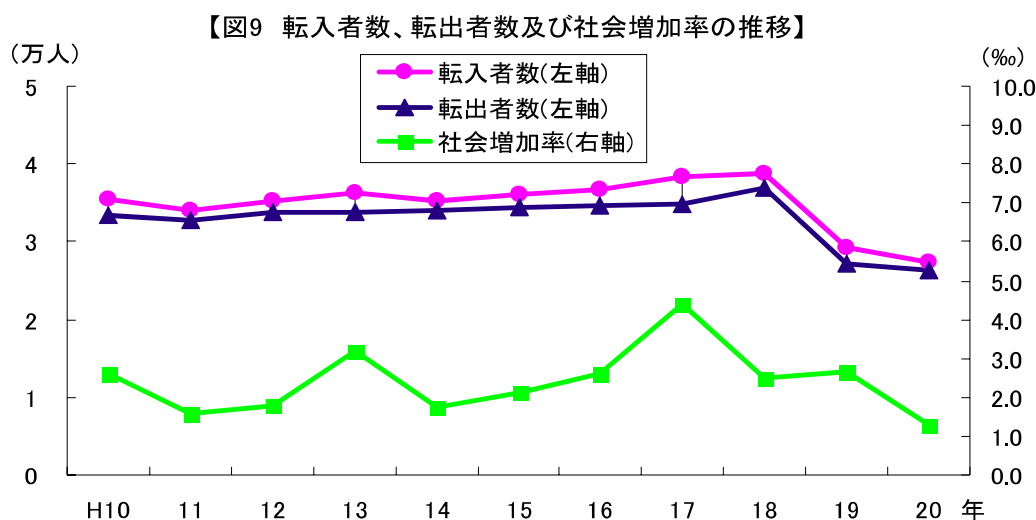


表7 社会動態(市外移動)

区 別	転 入			転 出			社 会 増 加		
	総 数	転入率(‰)	前年比(%)	総 数	転出率(‰)	前年比(%)	総 数	社会増加率(‰)	前年比(%)
浜松市	27,367	33.14	△ 6.53	26,313	31.86	△ 2.91	1,054	1.28	△ 51.58
中 区	11,085	44.51	-	10,794	43.34	-	291	1.17	-
東 区	4,219	32.48	-	4,074	31.36	-	145	1.12	-
西 区	3,731	32.22	-	3,370	29.10	-	361	3.12	-
南 区	3,466	32.52	-	3,316	31.11	-	150	1.41	-
北 区	2,210	23.01	-	2,220	23.12	-	△ 10	△ 0.10	-
浜北区	2,118	23.08	-	1,913	20.85	-	205	2.23	-
天竜区	538	14.67	-	626	17.07	-	△ 88	△ 2.40	-
平成19年	29,280	35.57	△ 2.30	27,103	32.92	△ 4.29	2,177	2.64	31.94

6. 人口移動状況(住民基本台帳・平成20年1月～12月)

平成20年1月から12月までの人口移動状況をみると、東海地方での出入りが最も多く、転入者は9,921人(構成比50.9%)、転出者は9,551人(51.4%)である。以下、関東地方、近畿地方と続いている。

東海地方を県別にみると、転入者・転出者ともに最も多いのは静岡県で、東海地方における移動者の約6割を占めている。このことから、県内移動者が浜松市の人口動態に大きく影響していることが分かる。関東地方においては、転入者・転出者ともに東京都、神奈川県に多い。

大都市(東京都特別区部及び政令指定都市)別にみると、転入者は静岡市、東京都特別区部、名古屋市の順に多く、転出者は東京都特別区部、名古屋市、静岡市の順に多い。

全国でみると923人の転入超過であるが、関東地方と九州・沖縄地方に対しては転出超過である。東海地方においては370人の転入超過であるが、三重県に対しては107人の転出超過である。

表8 地方別転入・転出者数

地方	転 入				転 出				転入超過数(△は転出超過数)		
	総数	構成比(%)	男	女	総数	構成比(%)	男	女	総数	男	女
総数	19,495	100.0	11,458	8,037	18,572	100.0	10,680	7,892	923	778	145
北海道	385	2.0	241	144	300	1.6	188	112	85	53	32
東北	460	2.3	266	194	371	2.0	248	123	89	18	71
関東	4,488	23.0	2,738	1,750	4,814	25.9	2,695	2,119	△ 326	43	△ 369
北陸甲信越	799	4.1	482	317	645	3.5	382	263	154	100	54
東海	9,921	50.9	5,631	4,290	9,551	51.4	5,428	4,123	370	203	167
近畿	1,535	7.9	873	662	1,190	6.4	675	515	345	198	147
中国	659	3.4	432	227	354	1.9	214	140	305	218	87
四国	183	0.9	119	64	163	0.9	98	65	20	21	△ 1
九州・沖縄	1,065	5.5	676	389	1,184	6.4	752	432	△ 119	△ 76	△ 43

注1) 住民基本台帳人口移動報告月報(総務省統計局)による。

注2) 東北地方：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 関東地方：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 北陸甲信越地方：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県 近畿地方：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県 中国地方：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県 四国地方：徳島県、香川県、愛媛県、高知県 九州・沖縄地方：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

注3) 都道府県別・大都市別の転入・転出者数は、表6に掲載。

表9 東海地方県別転入・転出者数

県	転 入				転 出				転入超過数(△は転出超過数)		
	総数	構成比(%)	男	女	総数	構成比(%)	男	女	総数	男	女
総数	9,921	100.0	5,631	4,290	9,551	100.0	5,428	4,123	370	203	167
静岡県	6,249	63.0	3,540	2,709	5,836	61.1	3,277	2,559	413	263	150
岐阜県	369	3.7	211	158	307	3.2	188	119	62	23	39
愛知県	3,001	30.3	1,707	1,294	2,999	31.4	1,711	1,288	2	△ 4	6
三重県	302	3.0	173	129	409	4.3	252	157	△ 107	△ 79	△ 28